



森のようちえん「丸太の皮おき体験」様子

(特非) 時ノ寿の森クラブ

小規模森林における 環境共生型森林保全の 基盤づくり

普及啓発活動の
延べ参加人数 3,175人

山から海までの
荒廃森林に
対する植樹本数

7,977本

活動の全体目標に
対する達成度

40%

一般助成

1年目

実践

課題

集落廃村後の荒廃した小規模民有林は間伐・植樹等により、豊かに回復し始めた。今後はこの森林のハード・ソフト両面を活用し、持続可能な保管理体制の基盤づくりが必要。

活動内容

- ①小規模区画民有林を集約化し、間伐事業、植樹・育樹事業の実施。
- ②森の恵みを多角的に商品化する環境共生型ソーシャルビジネスの確立をめざし、樹木と野草を原料にした自然派石鹸の開発・商品化の実施。
- ③森林保全のための普及啓発活動として、森林体験による人づくりをめざした「時ノ寿学校」の開校準備を行い、学長予定者を講師に招き公開講演会を開催。
- ④「時ノ寿学校」で開催予定の森のようちえん等を試行実施。



森の恵み石けん 商品化

今後の課題

- 商品化した石鹸の普及促進を図り、森林保全活動の啓発へつなげること。
- 商品の製造工程で地域住民の参加や雇用の可能性を模索。
- 石鹸の他に森林資源を多面的に活用した新たなソーシャルビジネスへの拡大。

成果と工夫した ポイント



成果

環境共生型ソーシャルビジネス新規事業として、「ヒノキの葉」と「クズの葉」を原料にした化粧品「Grace of forest 森の恵み石けん」の認可取得・あわせて認可工場での石けん製造・商品化を実施。

工夫

石鹸の原料にヒノキ及び掛川特産の葛を活用し、かつ化粧品製造という特殊技能を企業協力によって取得した。